

公表

訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名		公表日				
児童発達支援センターピノキオの家		令和6年12月7日				
		利用児童数			令和6年9月30日 16名	回収数 11 (項目4未回答1)
チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
1 訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	8	3		<ul style="list-style-type: none"> ・実際に集団の中で対象児と関わる姿を見て、支援のポイントや工夫を知ることができました。 ・実例や代替案など一緒に考えてくれているが、集団生活をする中で取り入れるのが難しい面もある。 ・子どもの姿をよく見ているので説明や助言を言ってくれるので取り入れやすいように感じた。 ・丁寧に保育の中の困りごとなどアドバイスいただき、わかりやすいです。 	今後も具体的で分かりやすい説明を行っていきます。また、園の実態に合わせ、取り入れやすい対応となるよう、先生方との協議を行っていきます。	
2 訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	11			<ul style="list-style-type: none"> ・より具体的な支援方法を教えていただきました。 ・保育士とは違った視点からの助言があり、新たな気づきもできる。 ・いろいろと教えていただいています。 		
3 訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれますか。	11			<ul style="list-style-type: none"> ・より良いと思われる支援を的確にアドバイスいただきました。 ・こちらの質問や問いかけに対して納得のいく回答をしてくれた。 ・丁寧に対応して下さっています。 		
4 保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	7	3		<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの様子や困り感を共有することで、支援の仕方を見直すきっかけとなりました。 ・困ったことを話して受け止めてもらえることで気持ちが軽くなることはあるが、問題解決とまではいかないこともある。 ・アドバイスを受け実践していくことで向上していることが多々あります。 	先生方の心理的負担を減らし日々の保育の後押しができるよう心がけます。また、先生方とともに問題の要因を分析し、解決のための方向性を話し合えるよう努めます。	
5 事業所からの支援に満足していますか。	10	1		<ul style="list-style-type: none"> ・対象児や保護者の現在の状況などを共通理解できる為、必要だと感じました。 ・定期的に来てくれることで共に成長を感じることができた。 ・大変満足しています。 ・担当児のみに限らず相談できありがたいです。 	子どもへの関わりのポイントや、ご家族への対応など共有し、協働的な支援が行えるよう取り組んでいきます。また、対象児を含めたクラス・園全体の支援となるよう努めます。	
その他のご意見				ご意見を踏まえた対応		
<ul style="list-style-type: none"> ・こどもの姿をよく見て、理解してくれていて、その子について共通で分かりあえることができたと感じる。よく理解があるので、今後の保育に活かしていくことができそうである。 ・専門機関と連携をとりながら保育を行っていることは、保育所としてとても助かっている。助言もわかりやすく理解できるが、他児も生活している中でまわりの子が制限や影響を受けないようにどう取り組んでいくのか課題になることもある。 ・支援員さんが療育に通っている子に援助することで、普段の友達同士の関わりが見られなくなってしまっているのが残念です。もう少し、普段の遊びや友達との様子を見ていただけたらと思います。 ・対象児のさりげないサポートについて、全体の保育をしていると気付いていない部分があります。より詳しく支援していただいた内容や職員の声かけなどをアドバイスしていただければ助かります。 ・保護者の方の考え、今実際のところどのように考えておられるのか、園とは違った場での様子などが共有できて良いと思われたい。 ・時間をとって連携していくことが大切であり、必要だと思うがなかなか時間がとれず、保育をしながら話をするのでいっぱいになっている。その中で幼児の姿を見ながら話ができる点では有意義だと思う。 ・いつも様々な視点からのアドバイス、また保護所との連携を密にして頂きありがとうございます。 ・いつも丁寧にみていただきありがとうございます。 				先生方には日程調整から訪問時の協議、支援会議へのご参加、アンケートへの回答まで、お忙しい業務の中ご対応くださり心よりお礼申し上げます。訪問時の支援員の動きや協議方法など、園の実態に合わせて柔軟に対応できるよう心がけ、アセスメントに基づいたより分かりやすい助言となるよう努めます。また、保育場面において直接支援する際の方法や、関わりの実際についての共有方法など協議しながらすすめていきます。		